

“ MELOOK μ ”レコーダと “ MELSAFETY - P ”の連携

野口光一* 平松隆宏**
蓬田 仁*
渡邊友樹*

Cordination of "MELSAFETY - P" with "MELOOK μ " Recorder

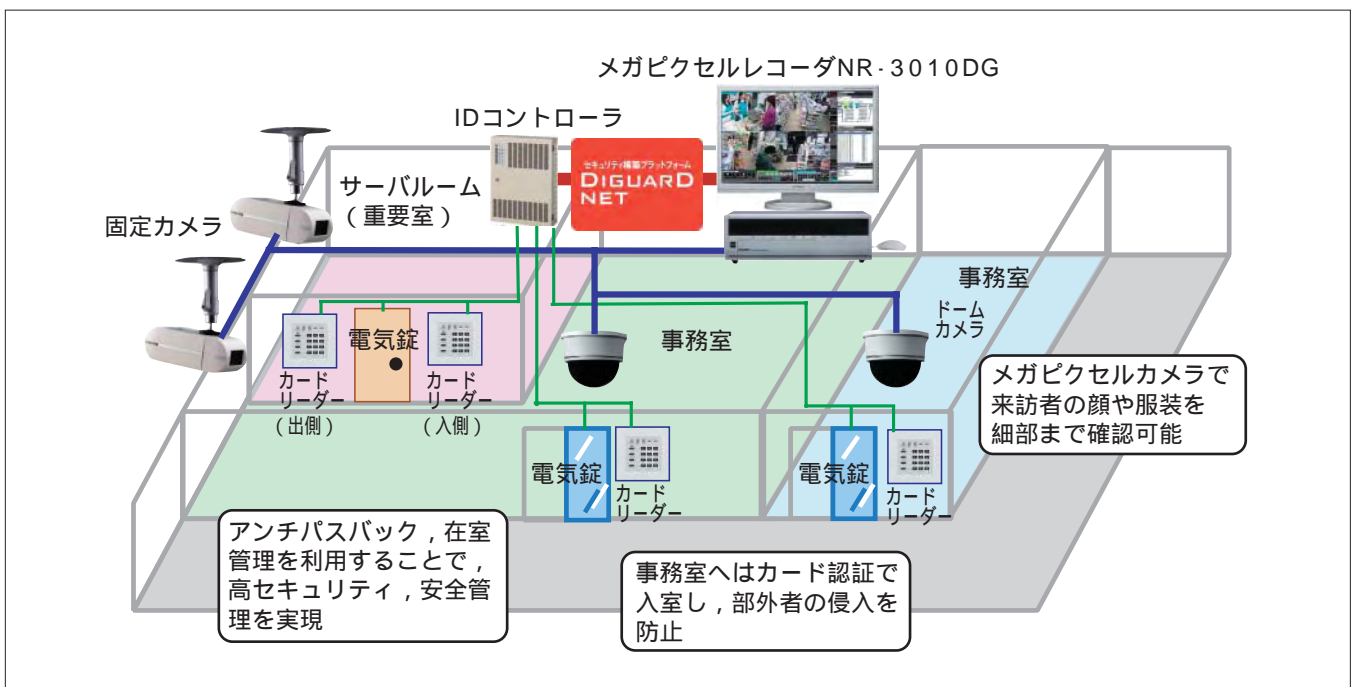
Koichi Noguchi, Hitoshi Yomogida, Tomoki Watanabe, Takahiro Hiramatsu

要 旨

近年の社会情勢の変化，例えば日本版SOX法(米国企業改革法)，不正競争防止法，個人情報保護法の改正・施行等の要因によって，企業に求められるセキュリティ対策は複雑化・高度化する傾向にある。このような状況に対応するため，三菱電機ではセキュリティ構築プラットフォーム“ DIGUARD NET(ディガードネット)”を開発し，異なるセキュリティシステム間の連携を進めている。その中でも特に入退室管理システムと映像監視システムは，通行・在室状況の把握と，それら状況の映像確認による不正入退室の防止が可能であることから，相互に連携することが求められていた。このニーズにこたえるため，“ MELOOK μ (メルック ミュー)”シリーズの新製品として，入退室管理システム“ MELSAFETY - P(メルセーフティ ピー)”との連携によって，より強固なセキュリティシステムを構築して効率的に運用できる“メガピクセルレコーダ(DIGUARD NET対応)NR - 3010DG”を2009年3月に発売した。MELOOK μ シリーズは，中小規模施設向けとして，人物，紙幣，商品など被写体の識別に有利なメガピクセル(100万

画素超)の高解像度を実現したことを特長とし，従来のアナログ映像監視システムと比較して，同等のコストで4倍の解像度を実現した。MELSAFETY - Pも同様に，比較的小規模なシステムをターゲットとしており，これらを連携したメガピクセルレコーダNR - 3010DGによって，中小規模な映像監視・入退室管理連携システムを実現した。開発の背景として，先に述べた法改正によるセキュリティシステムの導入は大企業で浸透しつつあり，今後は小規模オフィス，流通店舗，製造業などの中小規模の事業者向けにシステム導入が活発化すると予測されていることなどが挙げられ，これら小規模システムに対しシステム間連携による利便性の向上などの効果をもたらすことを目的としている。

本稿では，DIGUARD NETによるシステム間連携の概要と，DIGUARD NETによって実現した入退室管理連携メガピクセルレコーダの機能及び特長について述べる。今後は，他のセキュリティシステムとの連携機能追加などの機能強化や，基本性能強化を図っていく予定である。



小規模オフィスにおける入退室管理連携メガピクセルレコーダ“ NR - 3010DG ”導入例

メガピクセルカメラのライブ映像による監視に加え，事務室等ではカード認証の入室で部外者の侵入を防止し，サーバーラームのような重要室ではアンチパスバック・在室管理によって，高セキュリティ・安全管理を実現する。